



みやこ市議会だより

森・川・海とひとが共生する安らぎのまち

2010

平成22年度

6月議会

No.21

6月13日(日)新宮古市としてははじめての国定公園早池峰山の山開きが行われ、約1000人の登山者がおとづれた。登山口では式典、山頂では安全祈願祭が開催された。

早池峰山 山開き～シーズンの安全を願う～



6月定例会補正予算……………2P

(一般会計)(特別会計)

可決された条例など……………3P

議員の紹介など……………3P

一般質問……………4～13P

委員会活動報告……………13P

請願・陳情・意見書、傍聴席、編集後記…14P

ナンブイヌナズナ
(早池峰山固有種)

6月定例議会

一般会計

住宅リフォーム促進事業補助金 1億5000万円など 4億4881万4000円を補正

今回補正の主な事業

(単位：千円)

※コミュニティ助成事業（3団体）	6,200
※住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金	5,000
※緊急雇用創出事業等委託料	81,000
※林業担い手育成補助金	1,874
※強い水産業づくり交付金事業費補助金（津波復旧）	54,290
※住宅リフォーム促進事業補助金	150,000

平成22年6月定例会は、6月18日から25日まで開かれ、一般会計補正予算や、宮古市手数料条例の一部を改正する条例等8件、市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについての審議、人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求める等について等のほか、請願並びに意見書案4件が審議され閉会しました。



6月定例会において、平成22年度宮古市刈屋財産区特別会計補正予算（第1号）が既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれに5433万4千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ5570万9千円とするとの審議がされました。

主な内容については、岩穴事業区分収林の立木処分によるものです。

特別会計

住宅リフォーム促進事業

6月17日現在で1255件、総工事費は約5億9千6百万円です。補助申請件数が多いことから、6月定例議会において、今後1500件を見込み1億5千万円の補正を可決しています。

一般質問 ◆◆施策を問う◆◆

6月22日から6月24日までの3日間、一般質問が行われました。質問者は18名で、魚市場の整備、景気対策、子宮頸がん予防についてなど議論されました。その要旨を紹介します。



質問 防潮堤と整合性図り再整備を

答弁 整合性ある充実、強化を目指す



松本尚美議員

■ 新たな観光資源の創出を
問 状の景観だけでなく、花を中心とした、新たな景観の創出が必要と考える。公園区域は難しいと思うが、隣接する民有地等、可能な限りの空間にツツ重要と認識している。「水産振興ビジョン」を策定する中で、関係事業者、団体等と協議しながら、流通拠点である関連施設の機能の充実、強化について鋭意取り組んでいきたい。

え得る機能や効率性に課題がある。防潮堤事業が進められていくが、整合性を図りながら、関連施設の機能をさらに充実、強化すべきと考える。見解を伺つ。

答
山本市長

問 鍬ヶ崎地区は水産、漁業の基地、拠点として当市の経済を支えてきた。しかしながら時代の変化や、関連化と共に、競争に耐



舊魚市場施設

答　ビジターセンターやレストハウスが浄土ヶ浜にオープンし、受け入れ施設の整備が図られたが、今後は、より魅力的な観光拠点としての環境整備が課題と考えている。提言の浄土ヶ浜周辺を花で飾ることは、桜等の名所となつている白木山との相乗効果が期待され、魅力アップにつながると考える。公園地内の植栽について環境省は「一律に規制しないが協議が必要」との見解だつた。当面は私有地の第一駐車場の周辺から環境省と協議しながら取り組みたい。

答

吉水産業振興部長

質問

プレミアム商品券は魅力がない



答弁

事業の検証を行い、考える

茂市敏之議員

実施し、その上で整備に係る基本方針を検討したい。

問 低所得者の方々には、リフォームの余裕はない。恩恵が受けられるのはプレミアム商品券だが、住宅リフォーム補助事業に比べ魅力に乏しい。プレミアム金額を30%とし、再度3億円ぐらい発行すべきと思ふがどうか。

し上げてきた。月山観光開発はどうなっているか伺う。

答 山本市長

月山山頂部等整備については、基本構想と実施設計をもとに、12月に観光審議会から、意見をいただいた。今年度はさらに関係団体から意見を聞くとともに、利用者のアンケートを

券の発行と住宅リフォーム補助事業を、新年度から実施した。住宅リフォーム補助事業は、すばらしい事業だが、根本的な経済発展の戦略が必要であり、古市産業立市ビジョンが待たれるところだ。私は景気を回復させるためには、観光の振興を図ることが最善の方法であると申

と続けて景気対策について質問した。市長は、この対策として、^アノミヤ商品

私は12月議会、3月議会



プレミアム商品券

どうか伺う。
吉水産業振興部長
2/3について検証する。

問 答 や巡回指導など徹底している。農畜防疫互助事業には、全畜産農家が加入している。

鳥獣被害防止対策事業について、対象は全農家とし補助額は一律に経費の2/3上限10万円とすべきと思うが、どうか伺う。

吉水産業振興部長 2/3については検証する。

答
吉水産業振興部長

問 口蹄疫対策の状況と家畜防疫互助事業への加入の状況について伺う。

事業の検証を行い、検討する。

質問

津波避難対策を効率的に



答弁

速やかに対応、体制を整備する

高屋敷吉蔵 議員

答 山本市長 ①国道の通行止めは「津軽石川崎山」「樺内道の駅」の2区間で交通規制を行った。解除まで長時間のため、交通渋滞食事やトイレ、迂回路の地理不案内等の課題が出た。提起された問題に速やかに対応し体制の整備を図る。②災害時要援護者についても、地域による避難支援

いた。(4)「焼き出し」は外注と聞
は。(5)今回の波高予想は2m。
実質は70cm。沖合20kmのGPS
の効果は。童話「狼少年」とな
らないようにすべき。(6)防災無
線のデジタル化で、田老地区の
個別受信機が廃棄され、防災行
政の後退となる。是非、再考す
べきだ。

職員の労を多とし、遠地津波対策に課題を残した。①国道の長時間通行止めがあつたが、迂回路の案内は十分だつたか。②津波到達の長時間予想は、弱者等の避難対策も可能と思うが今後はどうか。③外国からの長時間津波は、奥の狭い入江湾と荒波の外洋湾とは別の対策が必要

問　去る2月28日、大津波警報が発令され、避難指示から解除までの12時間以上の対策となり、当方、開示



海岸堤防の門扉

吉水産業振興部長

■浄土ヶ浜への車両の乗り入れを

答 現在4月～10月通行規制しているが、障がい者や営業車は通行可。関係機関と協議する。
(紙面不足で問は省略します)

5

質問 子どもの健全育成に放課後対策を



答弁 多くの意見を聞き考え方を進める

坂本 悅夫 議員

問

答

の家」が実施された。これによつて留守家庭の子ども達の生活の場、遊びの場が確保された。それでは一般の子ども達はどうか。このままでいいのか、といふ課題がある。放課後の状況は一昔前とは状況が一変し遊ぶ子ども達が近所にいなくなり遊びたくても遊べない状況がある。子ども達の健全な発達には子ども達の「遊び」「群れる場」が必要だ。放課後、一般の子ども達

問 放課後対策に
ついては、今まで必ずしも重視してこなかつた。数少ない施策ではあるが「学童



機遊びをする児童

質問 市独自採用で35人学級導入を



答弁 少人数学級実施は考えていない

北村 進 議員

い。級を上

答 目

答 教科担任制をとつては、中学校では、学級が1増加することで教科時数が増えて1.5人の教員が必要となることから、学習定着度に合わせて班分けするなどの少人数指導に加配教員を振り向けていたいとする学校もある。各学校の現状に合わせて一人ひとりに行き届く教育を実現できるように教育環境を整えていきたいが、現在のところ少人数学級を実施することは考えていない。

少人数学級の良さは、児童生徒一人ひとりが生き生きと学校生活をおくることができ、児童生徒の理解がさらに深まり、信頼関係をより強めることができると考える。保護者からも要望が多い少人数学級の実施を国や県に先んじて、市独自で導入する考えはないか伺う。



建設中の第一給食センター（新里）

■給食センターと食育について

答

問 給食センターが教育に
果たす役割を伺う。

■県立高校整備計画について

四

問 地域の高校を存続させ
ることが大切と考えるが
市長の見解を伺う。

質問 津波対策等の看板設置は



答弁 適切な避難誘導の整備を図る

工藤小百合 議員

問

■救命講習会について

問 救命講習会を受講することとは、基本的な知識を習得することであり、自分の家族は自分で守ることが重要だ。緊急時に遭遇したときに受講し

(2) 宮古市は合併により広大な面積になつたが、市民の安全・安心を確保するための危機管理の取組みを図る。

ソフト対策の推進が特に重要な課題である。津波は海、山は山津波、と地球温暖化が起因すると思われる自然災害や異常気象による災害が日本列島至る所で発生している。(1) 21年度設置について予算措置をして計画されたと思うが、実施について伺う。

宮城県沖地震の10年以内に発生する確率が60%から70%程度に引き上げられている。災害を想定し、未然

津波避難看板

質問 閉伊川の水質・水生生物調査は

答弁 水質調査を年4~12回実施

古館章秀議員



され
で提案

現場の調査などして今後

から遠いところはますます住民の意向が反映されないので、疑念と不安を抱いているので、提案されなかつた名称に決定された。多くの方々は、市庁舎

問 旧川井村の一部地域で
村の住所変更に伴う意見
交換会の開催の不備から周知さ
れなかったことによるものと見ら
れる。この問題を解決するための
具体的な対応策を述べよ。

環境基準を満たす。水生生物等の調査は、門馬小学校ほか7校などが取り組み、きれいな水として上位の階級を占めており、今後も水質の保全に努める。

いる宮古市民の「命」の水がめである。環境保全の観点からも水質や水生生物等の調査が必要と思うが、いかがか同う。

水質調査する児童

は、地区民との意見交換会を開催。地元の任意団体からは合併後の住所表記は門馬田代にとの要望書が提出された。意見交換や合併調査特別委員会などとの協議を重ね、第8回合併協議会で門馬田代とした。合併協定調印直前に実施した合併住民説明会において門馬田代でなく区界を希望する意見が多かった。現在、そこに暮らす住民の方々の意見を最大限尊重し、川井地域協議会で協議し、住所表記の問題解決に向けて取り組んでいる。

納得する対応を求めていた。住所変更に関する経過について伺う。

質問 消防団協力事業所表示制度を

答弁 防災充実が図られるよう、導入を検討



藤原光昭議員

問

火災の消火や予防活動を始め、地震や津波、風水害などの大規模災害が起きた場合の住民の救助や避難誘導

導など、万一名の場合に欠かせないのが地域に精通した消防団の力だ。しかし高齢化も進み、団員の確保が難しく、消防団員の多くは被雇用者となっている。勤務の都合で参加しにくい。社員の消防団協力活動に理解を示す会社を社会貢献と認め、認定する制度の導入に要綱を整備し取り組むべきと思う。当局の考え方を伺う。

答

小笠原危機管理監

当市における消防団の就業形態は、事業所等の従業員が全体の約7割を占めている。就業時間帯における消防団の活動に事業所の理解と協力が不可欠だ。協力事業所の認定基準を定めて、防災体制の強化が図られるよう、制度の導入に向け検討する。

■老人の介護サービスと支援策は
問
高齢者人口の増加に伴い、施設入所や在宅の支援サービスを強く願っている。今年度に4カ所整備する予定だが、完成後の待機者、早期入所が必要とされる方の状況は。年々



消防団大演習

質問 介護待機者の解消見通しは

答弁 在宅サービスの充実と併せ解消



崎尾誠議員

問

介護保険が始まって10年になるが、共産党の国会議員団のアンケート調査によれば、経済的理由による利

用抑制、実態とかけ離れた認定制度、施設の人手不足など深刻な事態であるが、市長はこの介護保険事業をどのように評価するのか。

答

山本市長

当市待機者が総定員の1.5倍や2倍を超すところもあり、解消見通しを明確にできないところが多いが、当市はどうか。

山本市長

答

山本市長

この調査によると、利用者への独自の軽減策が、利用料で43・6%、保険料で86・7%にも上っている。当市でも利用料・保険料の軽減の必要があるがどうか。

向け検討したい。



市内の介護施設

答

山本市長

制度が始まつた平成12年の利用者は1496人、平成21年度は2663人と増加しており、高齢化社会を支える制度として定着してきていると考える。

答

佐々木教育長

学力向上、基本的な生活習慣の定着、「中1ギャップ」緩和など有効性が多い。

教員20名の増員が必要で1億4000万円位見込まれる。

質問

議員報酬削減し雇用、医師確保の原資に

答弁

財源確保の報酬削減は考えていない

高橋秀正議員



問

「産業振興
補助金」制度

を創設し雇用と産業
の振興を図っている
が、現在50万円の限
度額を引き上げるつ
もりはないか伺う。

吉水産業振興部長

答

山本市長

限度額の引上げについて
は、応募状況、事業成果の検証
と、補助事業全体の評価を行い、
来年度以降に検討する。

■宮古病院の医師確保について
短期的な医師確保は市
長に任せるとして、中長
期的な医師確保について「医師
奨学基金」制度を創設、医師を
志す若者に制度を活用させて、
医師になったあかつきには、宮
古病院に5年間勤務を条件にす
る考えはないか伺う。

答

山本市長

宮古病院においては、循
環器科、整形外科が常勤医師不
在となっている。現在休診中の
耳鼻科、眼科と併せて、医科大
等の関係機関へ医師確保の働き
かけを行っている。また宮古病
院へのような支援が可能か検
討するとともに、市の重要な課
題として取り組んでいく。



医師充実が求められる宮古病院

■議員報酬の削減について
市議会議員は、市民の
ために崇高な理念と使命
感をもって活動している。市長
は議員の報酬削減をして、その
余剰金を雇用確保、医師確保に
充てる考えはないか伺う。

問

「産業振興
補助金」制度

市議会議員は、市民の
ために崇高な理念と使命
感をもって活動している。市長
は議員の報酬削減をして、その
余剰金を雇用確保、医師確保に
充てる考えはないか伺う。

答

石村総務企画部長

現在の議員報酬額は、審
議会の答申に基づき、平成18年
に改定し、県内13市では中位に
位置している。雇用、医師確保
は喫緊の課題だが、合併で市域
が拡大したことや多様な行政課
題への対応が求められるなど、
議員の活動領域や職責がますま
す増してきていることから、今
のところ施策の財源確保のため
に議員報酬の削減について審議
会に諮問することは考えていな
い。

質問

六次産業振興の環は「食」

答弁

加工技術や製品開発が課題

落合久三議員



問

「産業振興の
勘どころは、
「食」にある。宮古
市での加工業の優位性
と課題は何か。その
推進の上で県立水産
高校との連携が重要だと考える
が。

答

吉水産業振興部長

宮古の食品加工業は65事
業所で、全製造業事業所の44%
だ。製造出荷額は188億円で
電子部品製造額に次ぐ。最大の
特徴は、新鮮で高品質な原材料
だ。これが逆に加工技術や製品
開発に遅れを来たした要因だ。宮
古水産高校は「すじめ」の商品
化に取り組み、最優秀賞に輝い
た。水産加工企業と水産高校と
連携し、製品開発等をテーマに
見学会を開催していく。

答

金澤市民生活部長

この事業は子育て世代の
経済的負担を軽減し、子育てと
少子化対策の重要な事業だ。5
県が小学卒業まで、4都県が中
学までとしている。中学まで広
げれば対象1700人、年間3
千万円が見込まれる。県の制度
拡充とあわせ、段階的に取り組
む。

質問

六次産業振興の環は「食」

答弁

加工技術や製品開発が課題

落合久三議員

質問

六次産業振興の環は「食」

答弁

加工技術や製品開発が課題

質問

悪質商法等への取組み強化を

答弁

被害の未然防止啓発活動が課題に



問

経済情勢の
悪化や貧困の
拡大等によって生活
困窮に陥る市民が増
加し、結果として多
重債務問題を抱える

市民も増加している。また、高齢者や知的障がい者、青少年等を標的にした悪質商法の被害も後を絶たない状況にある。市民の生活を支えるためにも消費者被害の防止と救済、安全と安心の消費者行政を一層、充実強化する必要があるとの認識から、次の点について伺う。

(1) 宮古市がめざす消費者行政の方向性と重点的に取組もうとする課題は何か。(2) 貸金業法の改正により、貸金業者からの借入は年収の3分の1までしかできなくなり、ヤミ金融被害が懸念されている。これの対応について伺う。(3) 消費者相談や啓発活動等を宮古市が中心となつて広域町村と共同で行うべきと考える。広域市町村の連携、協力のあり方を宮古市はどう考えているか伺う。

答

山本市長

当市のめざす消費者行政の方向性は、消費者被害の未然防止と被害の回復に力点を置いており、広域市町村連携による取り組みを進めていく。しかし、消費者被害の未然防止を図るための啓発活動は十分と言えず、

竹花邦彦議員

答

問

子宮頸がんワクチンについて
助成の検討を行う考え方

子宮頸がんの予防ワクチン接種について、公費助成の検討を行なう考えはないか。

佐々木保健福祉部長



市民からの相談を受ける市民相談室

悪化や貧困の
拡大等によって生活
困窮に陥る市民が増
加し、結果として多
重債務問題を抱える

今後の課題である。ヤミ金融被害防止対策については、生活資金困窮者にセーフティネット貸付資金の利用誘導を行うとともに、市関係課のネットワーク連携強化による多重債務者の把握と警察等との連携による被害解決、生活再建への支援を行っていき。宮古広域市町村の連携、町村とともに今後のあり方にについて意見交換をしていきたい。

協力のあり方については、管内計画の策定方針について、市職員の勤務時間・休日・休暇に関する条例の一部改正について、「医療の村」の一部長期貸付について、三王地区園地整備事業について、市職員の勤務時間・休日・休暇に関する条例の一部改正について、総合計画並びに市過疎地域自立促進計画の策定方針について、公共交通対策の実施状況について、グリーンピア三陸みやこの利用状況、地上デジタル放送への対応について、市税条例の一部改正について、刈屋財産区有林岩穴事業区分収林木処分について

教育民生（視察及び審議事項）

建設（付託事件審査及び審議事項）

- 市内視察（新里給食センター・安庭山荘・和井内ふるさと会館等）
- 国民健康保険事業勘定特別会計決算見込みについて
- ひとり親家庭等医療費給付事業について
- 市民総合体育館の冷暖房使用料の改定について
- 崎山貝塚縄文の森公園第一期整備事業について
- 第一給食センタ（仮称）建設事業の工事請負変更契約に係る専決処分について
- 重茂小学校屋内運動場増改築工事について

議会運営（協議事項）

委員会活動報告（3月～6月）

総務（審議事項）

経済（審議事項）

- 「医療の村」の一部長期貸付について
- 三王地区園地整備事業について
- 市職員の勤務時間・休日・休暇に関する条例の一部改正について
- 総合計画並びに市過疎地域自立促進計画の策定方針について
- 公共交通対策の実施状況について
- 地上デジタル放送への対応について
- 市税条例の一部改正について
- グリーンピア三陸みやこの利用状況
- 林業担い手育成補助金について
- 産業振興補助金について
- 緊急雇用対策について
- 職業訓練センター条例の一部改正について
- 港湾振興ビジョンについて
- 津波による水産被害について
- 産業振興部平成22年度主要事業の概要について
- チリ大地震津波水産被害復興支援について
- 林業担い手育成補助金について
- 産業振興補助金について
- 職業訓練センター条例の一部改正について
- 都市整備部平成22年度主要事業の概要について
- 上下水道部平成22年度主要事業の概要について
- 主要地方道紫波江繋線の自然保護地域区間のルート変更を求める請願について
- 公営住宅等長寿命化計画について
- 佐原団地建替え事業基本計画設計業務委託について
- 住宅リフォーム促進事業の状況
- 三陸縦貫自動車道「宮古北道路（仮称）」の早期事業化に関する要望について
- 平成22年6月定期会会期及び議事日程と議会報告会について

第一給食センター(仮称)契約額の変更

標記について6月18日の議会において、次のとおり契約変更し専決処分したと報告があった。

1. 機械設備工事

変更前契約額

4億2525万円

変更後契約額

4億2688万4850円

差額(増)

163万4850円

主な理由 有圧扇をインバーターとした。

2. 建築工事

変更前契約額

4億3039万5000円

変更後契約額

1億6585万2750円

差額(増)

625万2750円

主な理由 動力分電盤の見直しを行った。

3. 電気設備工事

変更前契約額

1億5960万円

変更後契約額

1億6585万2750円

差額(増)

625万2750円

主な理由 主要地方道紫波江繫線の自然保護地域内区間のルート変更前契約額

4億3039万5000円

変更後契約額

4億3865万6400円

差額(増)

826万1400円

請願

陳情
意見書

宮古市地域婦人団体協議会
会長 山崎セツ
代表 芳門留次郎
北上高地研究会
代表 湯浅俊行

採択された請願

○請願第1号

主要地方道紫波江繫線の自

然保護地域内区間のルート

変更を求める請願

請願者 宮古漁業協同組合

組合長 大井誠治

金澤勘兵衛

閉伊川漁業協同組合

組合長 裴野正一

○意見書第1号

小規模グループホームの防

火体制強化を求める意見書

提出者 宮古市議会議員

中嶋 榮

○意見書第2号

機能性低血糖症に係る国

取り組みを求める意見書

提出者 宮古市議会議員

中嶋 榮

編集後記

◆6月定例会は市長日程の関係で、例年より2週間遅れとなつたことから議会だよりは8月1日発行となりました。◆私達編集委員は、改選により全員新しいメンバーになりましたが、議会広報発行の趣旨を踏まえ、市民の皆様に公正、公平な視点に立つて議会活動を伝えたいと思っていまます。◆近頃、議会傍聴の方が多くなり、議員も議会も緊張が高まってまいります。どうぞお気軽にお出かけ下さい。◆2年間の任期ですが創意工夫を凝らして、分かりやすく親しまれるような紙面に心がけます。皆様からのご意見やご提言をお待ちしています。

傍聴席

平成22年度新採用職員研修の一環として6月23日(水)定例会・本会議を傍聴した。国からの派遣研修員も含めた我々18名が一般傍聴席の約3分の1を占めた。

傍聴席は議員席後方にあり、市長や各部署の部長、課長らと向き合っている。自分達の上司を正面にして、皆少々緊張した面持ちであった。

市政の方針を決定する過程を目にしているだけでなく、4月から従事し始めた業務、または、これから業務に直接、間接的に関係することもあり、皆真剣に耳を傾けていた。

ところで、残念なことが2つあった。それは、議場がほぼ男性だけで埋め尽くされていたことと、記者傍聴席が空席であったことだ。

女性議員の少なさとメディアの不在は、人口約6万人の宮古市の現在と将来に大きな損失を生み出しかねない。

多くの方々に、より住みよい宮古市をつくるための市議会の傍聴にぜひ足を運んでいただきたい。

宮古市津軽石 水車淳子

◆◇お知らせ◇◆

9月定例会(決算)議会は
9月16日頃からの予定です



前列左から 後列左から
委員 須賀原チエ子 委員 古館 章秀
委員長 横田 有平 委員 伊藤 清正
委員 佐々木重勝 委員 高橋 秀正
副委員長 橋本 久夫 委員 内館 勝則